

ふなばし三番瀬環境学習館

「三番瀬からわかる！SDGs」小学校向け動画集

実施期間：2020年10月1日（木）～2021年4月2日（金）



【事業の内容・目的】

- 干潟に隣接した学習館として、当館ならではの学校向け海洋環境教育の動画教材を7本制作した。動画内では、三番瀬を紹介するとともに、鳥のフライウェイによる干潟環境のつながり、海浜公園で見られるゴミと関連した海洋プラスチック問題など、国際的な取り組みにつなげて紹介した。
- 動画を作るにあたって草案・脚本から船橋市教育委員会にご協力いただき、小学校で用いることを前提として、対象となる学年や教科、単元をしばって制作した。また、動画を活用した指導案を作成し、教師が動画を教材として実践的に活用できるよう配慮した。制作した動画は、DVD および WEB サイトで船橋市内の小学校 55 校に共有した。
- 制作した動画を用いて、船橋市内外の小学校 2 校を対象に海洋教育についてのオンライン授業を実施した。授業後、小学校担任や東京大学海洋教育センターの指導講評を受けて指導案を修正した。

活動の様子

1. 「三番瀬からわかる！SDGs」動画作成

【開催日時】2020年10月1日（木）～2021年4月2日（金）

【開催場所】ふなばし三番瀬環境学習館・海浜公園

【参加者数】船橋市内55校

【活動内容・目的】

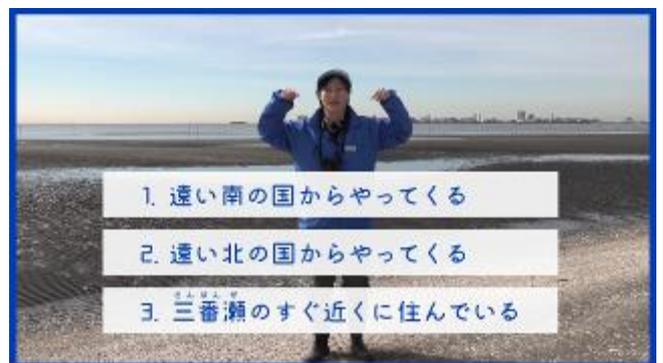
- 干潟に隣接した学習館として、当館ならではの学校向け海洋環境教育の動画教材を7本制作した。制作にあたっては船橋市教育委員会に協力いただき、学校で使いやすいよう対象となる学年・教科・単元を設定した。
- 制作した動画は、DVDおよびWEBサイトで船橋市内の小学校55校に共有し、授業で使用できるものとした。
- 当館の海洋環境教材として、今後継続的に使用していく。



干潟での撮影の様子



館内での撮影の様子



制作した動画は、「船橋の海を知ろう『三番瀬』」、「船橋の海の生きものを知ろう『渡り鳥』」、「船橋の海の生きものを知ろう『干潟の生きもの』」、「触れる地球でSDGsの基本を学ぼう1」「触れる地球でSDGsの基本を学ぼう2」、「探してみよう『エコラベル』」、「話しあってみよう『経済活動と地球温暖化』」の7本。内容は、ただ見るだけでなく考えを問うものやクイズ形式で参加するものとし、児童が最後まで視聴できるよう工夫した。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



三番瀬で実際にプラスチックごみを拾う、プロフェッショナルにインタビューする、学級で話し合い意見を求めるなど、動画を観た児童が実践できる内容を取り入れた。ただ知識を得るのではなく、SDGs の考え方にふれ、授業に活かせるモデルとなるような動画を目指した。



制作した動画は YouTube に限定公開して船橋市教育委員会、東京大学海洋教育センターに共有した。その後、DVD および WEB サイトで船橋市内の小学校 55 校に共有し、授業で使用できるものとした。今後は動画を教科書会社の運営する教員向け WEB サイト及び船橋市教育委員会の限定公開ストレージにて共有することを目指す。

【参加者の声】

- これはすごい動画ですね。わかりやすい説明に加え、音響やテロップ、写真等が豊富にあり、NHKの教育テレビにも負けていない仕上がり。また、船橋市のことを知って、郷土への愛着にも繋がると思います。これは有効活用していきたいですね。
- 児童が意欲的に学習できる動画でした。関心につながる学習になり、とてもありがたいです。
- コンパクトにまとまっていて、授業のまとめとして使用しやすいと感じました。内容も濃く、完成度がとても高いです。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

2. 授業実践「船橋の海をもっと知ろう」

【開催日時】 2021年3月11日(木) 9:30～12:20
2021年3月16日(火) 13:30～14:15

【開催場所】 ふなばし三番瀬海浜公園

【参加者数】 123人(船橋市内小学校91人・都内小学校32人)

【活動内容・目的】

- 船橋市内の小学3年生3学級を対象に、1で制作した動画を用いて、干潟の生きものの多様性および干潟の生態系サービスについてのオンライン授業を行った。
- 都内小学3年生1学級を対象に、1で制作した動画を用いて、海鳥の多様性とそれを支える環境の重要性についてのオンライン授業を行った。



都内小学校オンライン授業の様子



船橋市内オンライン授業の様子



授業を行った船橋市内の小学校3年生は、本来校外学習で来館予定だったがコロナによってかなわなかった。そのため、三番瀬についての体験的な知識に乏しいことが前提となった。授業では、動画を真剣に見る様子や動画内のクイズに夢中になって取り組む様子が見られ、その後行った干潟の生きもの観察につなげることができた。授業の最後の質問の時間では、動画の内容に関連して海鳥の生態についての質問も多く出た。



都内の小学校3年生は、オンライン授業が2回目となる。児童はオンライン授業そのものには慣れていたが、教員によると動画の部分は非常によく視聴していた。その後スマートコープによるリアルタイムの野鳥観察につなげたが、授業後の教師からの意見では、野鳥観察を先に行い、動画をまとめとして使用してはどうか、と意見を頂いた。

ミヤコドリとユリカモメは同じな事になっていますが、とても全然ちかいておもしろかったです。三番瀬でミサゴを見つけたリ、シロチドリも見たいです。おそろしに目かんでつかっていた道具もかしてくたさい。干潟でとりなみか見た事がないです。今度みたいです。

しものぼはトせては可らしくいくらの鳥がいますか。感想鳥についてしまじりきょうみはなからたけとじきょうをしてくれたおかげできょうみをまてました。これからはおでかけさきとか家のちかくて鳥をみかけたら何を食はるかとかとまからきたかをしるべてみようとおもいます。



両校とも、動画内でのクイズの回答を求める発言に対して児童が積極的に挙手で回答する姿が見られた。また、教師からは動画をきっかけに体験を求める児童が多かったとの意見を頂き、実際に2021年4月1日の開館日に学習館及び干潟へ生きもの観察に来訪した児童も見られた。

【参加者の声】

- 映像内で出たミヤコドリはユリカモメと違う姿で驚いた。干潟で野鳥観察をしたことが無いが、今度干潟に行ったときにはリアルタイムで観察したシロチドリやミサゴを実際に見てみたい。
- 今までは鳥にはあまり興味が無かったが、授業をきっかけに興味を持った。これからは家の近くでも鳥を見かけたら興味を持って観察しようと思う。

【事業全体のまとめ】

本事業の成果として、SDGs（持続可能な開発のための目標）についての考え方を示す、質の高い映像教材を制作することができた。SDGs 達成に向けた教育は、2020 年度より当館の運営における新たな主軸としている。従来は、学校向けにはワークシート及び来館時の団体学習プログラムを実施することで、SDGs についての普及を図ってきた。本事業は、SDGs 達成に向けた教育を実施するための新たな学習ツールとして、高い効果を発揮するものである。

動画の内容は東京湾央の干潟・浅海域である三番瀬にきっかけを作り、そこからグローバルなテーマへと拡張していくものとした。船橋市内に限らず、同様の干潟・浅海域を有する他市・他県でも、動画を活用して授業を実践できるものとなっている。

今後は、教科書出版社と連携してさらに多くの学校で活用できるように普及していくほか、エコラベルを管轄している団体との協力、動画を活用するための授業案の開発など、単に普及活動ではなく実践的に使用できるような活用を目指していく。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 船橋市教育委員会	動画内容の確認
2. 東京都内の小学校	授業実践
3. 船橋市内の小学校	授業実践
4. 一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン	マリンエコラベル事業の紹介

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. YouTube ふなばし三番瀬環境学習館	SDGs 動画（限定公開） 3/31
2.	
3.	
4.	
5.	

以上